

ファイナルレポート

(日本語抄訳版)



2023年10月24日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

wire & Tube Southeast Asia 2023 活気あふれる商談

2023年9月20日-22日、タイ・バンコクで開催された、wire & Tube Southeast Asia 2023 は同時開催の GIFA METEC Southeast Asia と共に無事閉幕しました。ワイヤー・ケーブル、チューブ・パイプ分野に加え、冶金および鋳造技術が紹介され、会場の BITEC は業界関係者で賑わいをみせました。

3日間にわたり、27か国から約254の出展者が、自動車、建築・建設、エネルギー・ガスなどの様々な分野にわたる技術、機械装置、イノベーションを披露しました。また、6,350人もの来場者（内、24%が海外からの来場者）をお迎えしました。

メッセ・デュッセルドルフ・アジアのマネージング・ダイレクターの Gernot Ringling は次のように語りました。「今年はより集中した来場者層が見られましたが、本当に際立っていたのは、会場でのディスカッションの深さと質の高さでした。参加者が明確な目的を持ち、コラボレーションに純粋な関心を持って来場していることは明らかでした。このような交流の価値と、持続的なビジネス関係の可能性は計り知れません。私たちは、私たちがサービスを提供する業界にとって有意義な交流の場を提供し続けることを約束します。」

東南アジアにおける急速な都市化、インフラ整備、インターネット普及率の上昇の中で、ワイヤー、ケーブル、チューブ、パイプの需要は増加傾向にあります。特に、2022年には、アジア太平洋地域が37%以上の市場シェアを占め、ワイヤー・ケーブル産業で最大の収益シェアを占めました。パンデミックを背景にインフラ整備が東南アジアの焦点となっており、この地域は世界的な重要性を固め続けています。wire & Tube、GIFA METEC Southeast Asia 2023 は、関連分野の企業にとって、同地域での足場を固めるタイムリーな機会となりました。

次回からは隔年開催に戻り、2025年9月17日-19日、バンコクの BITEC で開催予定です。詳細情報は近日中に公式ウェブサイトにて発表予定です。www.wire-southeastasia.com、www.tube-southeastasia.com

- ・ 本件のニュースリリース（英語オリジナル）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Messe Düsseldorf Asia Pte Ltd. / Ms. Zarina A Muhammad zarina@mda.com.sg

【日本でのお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：秋庭

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp